



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1131

17.11.2024 (135)

A. V. Schaerffenberg

# 白人種の知られざる英雄たち

パート4

## ウィリアム・ジョイス

「崇高な大義の真の重要な擁護者にとっては、命をかけて奉仕する人々に裏切り者として現れることも、時には必要なことかもしれない」。

ルドルフ・ヘス、1949年

没後46周年を迎え、ウィリアム・ジョイスは世界中のすべての国家社会主義者の心の中に再び生きている。それゆえ、20世紀の英雄の純粋な意味での勇気についてよく知らない読者のために、新年の初めに彼の



William Joyce

物語と彼の雄弁な言葉を思い起こすことは、ふさわしいことのように思われる。

ウィリアム・ジョイスは1906年4月24日、アルスター人の父とイギリス人の母の間にニューヨークで生まれた。少年が3歳の時、一家は北アイルランドに移り住み、その後10代でイギリスに渡った。そこでイギリス陸軍に入隊し、名誉除隊後、バタシー・ポリテクニクを経てロンドン大学のバーバック・カレッジで若き奨学生となり、学位試験で一等賞を受賞した。博士号取得を目指し、家庭教師として生計を立てていたが、政治的意識の高まりに惹かれ、英国初期のファシスト組織のひとつに参加した。20代前半となったジョイスの容姿は、生涯変わることはなかった。背は低いがたくましく、ハンサムな顔立ちで、普段は楽しげに自己を律する表情を浮かべ、口とあごは不屈の意志を感じさせた。しかし、彼の目は好奇心と知性と優しさで輝いていた。マーガレット・ケアンズという美しい女性と結婚したが、彼女は彼のイデオロギー的信念を共有し、第二次世界大戦中の荒波にもかかわらず、最後まで、そしてそれ以後も彼に忠実であり続けた。

## 演説家ジョイス

誰に聞いても、ウィリアム・ジョイスは写真のような記憶力の持ち主だった。しかし、そのような才能を持つ他の人物とは異なり、彼にはさらに、その豊富な情報を聞き手に生き生きと伝える、素晴らしくドラマチックな才能が備わっていた。彼はファイルや日記、メモの類は一切つけていなかったが、自分の身に起こったことはほとんど何でも、臆することなくすべて話すことができた。彼は何年かおきに、同じことを何一つ変わることなく繰り返した。彼は、これまでに読んだどんな詩も、注目すべき新聞記事でさえも、いつも正確に引用することができた」。

ジョイスの現代的で無愛想な伝記作家でさえ、彼についてこう書いている。彼は数学に長けていただけでなく、それを教える才能もあった。歴史、哲学、神学、心理学、理論物理学、化学、経済学、法律、医学、解剖学、生理学など幅広く読んだ。1936年にスケート中に鎖骨を骨折した際に

は、解剖学の知識を応用して自分で固定し、適切なストラップで固定した。「友人からも敵からも天才とみなされた。ウィリアム・ジョイスは、私たちのアイデアが白人種の最良の要素を引き寄せていることの生きた証拠であった。

彼が英国を愛したのは、英国民族をより深く愛したからにはほかならない。力強く意欲的なスポークスマンであり、ノーセンス・オーガナイザーであった彼は、オズワルド・モズレー率いるファシスト・国家社会主義者イギリス連合の中心人物となった。ある同時代の人物は、彼を「優れた作家であり、演説家であり、政策の説明者であり、何百もの集会で演説を行い、常に最高の状態で、暴力的な反対にも怯むことなく、ファシズムの鉄の精神を明らかにしている」と評した。不満を抱いていた労働党の国会議員も、それほど感銘を受けなかった：「彼に初めて会ったのは1933年、パディントン・バスで開かれた大混雑の集会だった。何年か前に嫌気がさして政治家を辞めた私は、ファシストの信条に感銘を受け、友人からモズレーの組織に入るように勧められていた。私は、モズレーの隣には誰がいるのかと尋ねた。私たちの最も偉大なスピーカーの一人であると言われていた人たちの話を聞いたことがある。この28歳の若者が登壇して10分も経たないうちに、私はここにこの国で最も優れた演説家の一人がいることを知った。政治界ではまったく無名の演説家を聴くために集まった大勢の聴衆と、その熱狂ぶりは、私にとって目から鱗が落ちるようなものだった。ジョイスは、英語で最も感動的なスピーカーの一人であり、しばしば酩酊してつぶやくウィンストン・チャーチルの比ではなかった。彼のスタイルが魅力的だったのは、1936年のスピーチの抜粋に見られるように、直接的で簡潔だったからだ：「祖国を愛すれば国民である。祖国を愛すれば国民であり、国民を愛すれば社会主義者である。国家社会主義者であれ！」

「彼の流暢で劇的なスピーチは、ヨーゼフ・ゲッベルス博士のそれと比較されてもおかしくない。「票集めの政治家とは違って、彼は聴衆に媚びたりはしなかった。彼は叱り、脅し、警告し、勤勉と規律と国家の浄化を訴えた。イギリスはヒトラーの友好を深め、共産主義者の脅威に対抗する同盟国として、大陸で最も強力な国家を獲得しなければならないと主張した彼は、現実的な軍事評論家であると同時に、熱烈な伝道者でもあった。」

## 英国ファシズムの勝利と危機

1936年までには、ブリティッシュ・ユニオンは帝国内で最もダイナミックな政治勢力となり、何百もの大規模集会で何万人もの信者を擁し、不況下の社会的失敗と民主主義の空虚な約束に幻滅した何百万人もの同胞の間に野火のような支持が広がっていた。黒シャツ隊は、マルクス主義者の敵の攻撃から身を守ることに成功し、ジョイスは棍棒と拳で闘争の渦中にいた。致命傷になりかけたのは、ユダヤ人が彼の右頬に永久的な傷跡を残したストレート・カミソリで彼を襲ったことだった。このようなギャングの反対にもかかわらず、イギリスのファシストたちは、カオスに対抗する文明のために、イギリス法の厳格な遵守をプログラムの一部に組み込んだ。彼らの合法性への適合とストームトルーパーの完全な防御姿勢にもかかわらず、政府は1937年の元旦に「公序良俗法案」を施行した。それは「政治的制服」の着用を禁止し、集会での警備を禁止し、合法的なデモを自らの裁量で解散させる権限を警察に与え、当局が「侮辱的な言葉」（すなわちユダヤ人についての真実）とみなすようなものさえ禁止した。コールが書いているように、公序良俗法案は表向きは「すべての政治団体に適用されたが、意図したとおり、主にファシストを攻撃した」。実際には、この法案の裁量性は黒シャツ党に対してのみ使われた。共産主義者も国会議員も、このオーダーメイドの法律を恐れることはなかった。公然たる一方的な専制政治に頼ることで、民主主義は詐欺と偽善の実態をさらけ出したのだ。

それでも、この苦肉の策は英国連合に悲惨な影響を与えた。黒シャツ隊は、自分たちが結成以来政策として支持してきた法制度が、事実上自分たちを禁止していることを知ったのだ。地下に潜るか、消滅するかのどちらかしかない選択肢に直面した彼らは、中間の道を歩もうとした。その結果、運動は分裂した。合法性を復活させるための費用のかかる無益な努力の結果、経済的圧力が高まり、イギリス組合はウィリアム・ジョイスを組織労働者とスタッフの5分の4とともに運動のポストから解任した。臆することなく、彼は国家社会主義者同盟を結成した。制服はもちろん違法だった。「しかしジョイスは、トレンチコートとマフラー姿で、まだ制服を着ているかのような印象を与え続けた」とコールは書いている。

公序良俗法案を恐れて、集会場の経営者たちは彼にその施設を貸すことを拒否した。屋外集会に頼ったN.S.L.は、以前と同じように身体的虐待を受けた。しかし、演説者を擁護する制服を着た黒シャツがいなかったため、集会はほとんど無秩序なものとなった。警察のおかげではないが、警察は通常、国家社会主義者が反対派より優勢になると、逮捕に動くだけで、騒ぎが発展するのを許していた。ユダヤ人組織による同じ不名誉な戦術が、30年後、40年後にアメリカでホワイト・パワーの活動に対して使われることになる。

N.S.L.本部は、ヴィクトリア駅からほど近い190ヴォーホール・ブリッジ・ロードにあった。しかし、ジョイスはそれを長く楽しむことはできなかった。彼と彼の親しい仲間たちは、自分たちをかばったとして暴行罪で起訴され、体制が彼ら全員を牢獄に入れることを狙っているのは明白になりつつあった。このような状況の悪化の中で、N.S.L.は生き残るためにできることはすべてやった。しかし、信奉者たちに欠けていた資金は、指導者たちの狂信性とイデオロギーの力で補って余りあるものだった。30年代後半には、信奉者の数とともに資金拠出も増加した。アドルフ・ヒトラーとの戦争前夜、イギリスの国家社会主義者たちは、大変な不利な状況にもめげず、支持を広げていた。しかし、N.S.L.は歴史的な出来事に圧倒されようとしていた。

## ロード・ホー・ホー ”の誕生

国会内にいた同志からの電話で、ジョイスは非常事態法による逮捕が数日後に迫っていることを知らされた。彼は法を犯したわけではない。政府は、彼の見解を理由に、戦争が続く間、彼を拘束したかっただけなのだ。数人のN.S.L.同志による即席の会合で、メンバーはジョイスに逃亡のための組織資金を贈ることを決議した。翌日、ジョイスとマーガレットは、イギリスが国家社会主義ドイツに宣戦布告する24時間前に、穏やかなベルリンに到着した。

異国での人脈もなく、経済的にも困窮していた彼らの状況は絶望的と思わ

れたが、到着して1週間後、ウィリアムは英語圏全域に放送するラジオ放送のキャスターとして採用された。当時のドイツ当局にとってウィリアムは無名に等しかったが、彼の雄弁さとよくできた原稿に感銘を受けたという。戦争が始まって間もなくのことだった。「ロード・ホー・ホー」（ロンドンのプロパガンダ情報省が彼に与えた蔑称）は、国際ラジオ界を代表する有名人の一人になっていた。B.B.C.が政府のために行った極秘調査によると、ジョイスの聴取者は1941年までにイギリス国内だけで2400万人に達したという。秘密報告書は、“彼の発言の多くが真実であるとの思いが高まっている”と結んでいる。間違いなく、ジョイスの真実味のある発言は、ユダヤ人に対する国民の意識を高める上で、特に白人二国間の無意味な戦争に対するユダヤ人の責任について、大きな役割を果たした。実際、一般大衆の反ユダヤ感情は、特に工場労働者の間で、敵対行為中にエスカレートし続けた（*Churchill's War*, David Irving, Veritas Publishers, Sydney, Australia, 1990, page 233）。

ジョイスは6年間にわたり、白色人種は戦争で人種的自滅を犯しており、国家社会主義こそが彼らの文明を破局から救うことができる唯一の概念であると説いてきた。国家社会主義は、「誰が最初にその言葉を使おうが、その精神を感じようが、土壌と人々から生まれなければならない。それは、一時的な不満からではなく、マルクス主義的唯物論の足かせをはめることなく、総体的で卑劣な民主主義的唯物論の鎖を投げ捨てたいという人民の革命的切望から生じている。この問題は、われわれのイギリス国民に関わるものであり、彼らは、いかなる国家にも限定されない反乱の精神を共有することを妨げられることはない。それゆえ、国際ユダヤ金融とそのもう一つの自己である国際ユダヤ共産主義に対抗するドイツの指導者の勇敢な業績に対する真の尊敬の念から、私は喜んでハイル・ヒトラーと言いたい。

彼は、戦争前夜にイギリスを離れた理由を率直に説明した：「もしイギリス人が、国際金融の支配に対して自分の街で戦うことができないのであれば、他の国に行って、自分の力の及ぶ限りのあらゆる手段を使って、自国政府の勝利を妨げた方がよい。そのような政府の勝利は、彼の民族にとって永遠の敗北となるからだ。イギリス人は、アドルフ・ヒトラーが道を示した新世界の建設に、その才能と個性を發揮する機会を、長らく拒否され

てきたはずである。このご時世、希望や信念を述べるのはおこがましいかもしれない。しかし、あえて言わせてもらえば、私は、戦争の炎を乗り越えたとき、イギリスの普通の人々が再び自分たちの魂を知り、ドイツ人の血を引く兄弟たちとの友情のうちに、人類の進歩の道を進むことを国家社会主義に求めるようになることを望み、信じている。

1945年5月、希望はあったが信念は打ち砕かれたジョイスは、丸腰で何の抵抗もしなかったが、占領していたイギリス軍のユダヤ人に撃たれた。手痛い傷を負ったジョイスはマーガレットとともに捕虜となり、ロンドンに連行され、そこで大逆罪の裁判を受けた。というのも、彼は英国市民でなく、英国の裁判所には彼を裁く法的権利がなかったからだ。さらに、第三帝国から彼が発信した何百もの放送を政府がすべて書き起こしたが、検察側はイギリス国民に対する言葉を一言も見つけることができなかった。彼の憎悪はすべて、「世界で最初の名誉あるユダヤ人」ウィンストン・チャーチルのような公人に向けられていたのである。

## ヒズ・ファイネスト・アワー

法廷での短い陳述の中で、ジョイスは自分の行為について謝罪することもなく、同情を買うような後悔の念を示すこともなく、自分の責任からひるむこともなかった：「私、ウィリアム・ジョイスは、ユダヤ人のためにアドルフ・ヒトラーや国家社会主義と戦いたくないので、イギリスを去りました。私がイギリスを去ったのは、現状を維持するような勝利は、敗北よりもイギリスにとってダメージが大きいと考えたからです」。この言葉が語られた時代と状況を考えれば、この男の揺るぎない勇気とスリリングな反抗心が強調される。

裁判が始まって間もなく、検事はチーフ・アシスタントに“勝ち目はあるのか？”と内心心配していた。その晩、ジョイスが無罪になる確率は6対4だと言う者もいた。「しかし、ウィリアム・ジョイスには法律以外の力が働いていた。弁護団は暗殺されると脅され、『デイリー・テレグラフ』紙の編集者はジョイス裁判の核心を突く驚くべき発言をした：“この事件は、外国人が反逆罪で断罪される一定の条件を初めて確立したものとし

て、法的歴史に残るだろう”。その “ある条件 ”は、ユダヤ人について真実を語る勇気のある者すべてに適用された。

この口調の国家社会主義者に待ち受けていたのは、同じイギリス人同志であったジョン・アメリーの運命であった。彼は8分間の裁判で死刑を宣告されたが、この記録はジョー・スターリンの絞首刑裁判官でさえ感心したことだろう。ジョイスの法廷での一日について、彼の現代の伝記作家でさえこう書いている。“裁判の緊張感は法廷をはるかに越えて感じられた。当時ロンドンにいた人なら誰でも思い出すだろうが、国民はイギリスの司法に不安を抱いていた。”それは、ある男が不当に断罪されるのではないかという恐怖からではなく、彼が法を犯していないことが判明し、復讐の機会を奪われるのではないかという懸念からであった。

不可避の事態が訪れると、彼は別の刑務所に収監されている妻にこう書き送った。裁判の) すべての期間を振り返ってみると、私は『英国司法』の歴史の中で最も悪質なデマの対象になっている。まあ、それはそれとして、私はもっと誇りに思う。死んでも、現世でも、私は先の大戦を引き起こしたユダヤ人に逆らう。そして、彼らが象徴する闇の力に逆らう。英国が再び偉大になりますように。そして、西側にとって最大の危機の時、ハーケンクロイツの旗が塵の中から掲げられ、歴史的な言葉「*Ihr habt doch gesiegt!*」私は自分の理想のために死ぬることを誇りに思うし、理由もわからずに死んでいった英国の息子たちに申し訳なく思っている。

## 死と変容

ある友人は、晩年のジョイスの様子をこう振り返る。「晩年、健康そのものであったにもかかわらず、彼の肉体は霊化しているようで、蒼白と呼べるようなものはなく、肉体はまるで透明であるかのようにであった。彼と一緒にいると、静かな教会にいるような、内なる平和が感じられた”

マーガレットに宛てた最後の手紙には、彼の毅然とした態度が表れていた：「今夜、私は自分の考えをまとめたい。平和な雰囲気が私を包んでくれる。あなたは日に日に美しくなっている。そしてそれは、最近の緊張のも

とでのあなたの大きな功績です。しかし、私がいつも言っているように、繁殖は語るものだ。私が「彼方の果て」に近づくにつれ、最終的な勝利への確信が深まっていく。それがどのように達成されるのか、私にはわからない。しかし、悲観論に傾くことはない。ヨーロッパとこの国は、我々の理想が正当化されるまでに、おそらくひどい苦しみを味わわなければならないだろうが、私は喜んで、誇りをもって、私の古い主将が要求する模範を示す。*Wir haben doch gesiegt!* フレジャよ、永遠の恋人として敬礼する！  
ジーク・ハイルジーク・ハイル！あなたの意志です”

1946年1月3日の朝、ウィリアム・ジョイスは処刑された。

引用および出典はすべて、ジョン・アルフレッド・コール著『*Lord Haw Haw and William Joyce, The Full Story*』（ファーラー&ストラウス、ニューヨーク、1964年）より引用。



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFRÜHMUNGSABTEILUNG  
November 1934      Ausgabe 1773      26. April 2017 42. Jahrgang

**Der Kampf geht weiter !**

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 die atomombuldenbelegte Bewegung wieder als ein zentrales Element in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mehrere von Massenmord, Verfolgung, Vertreibung und Verdrängung haben nicht aufgehört, das Kino der gesamten Welt umarmen hat glühende Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeitslos, Verlierer und Kameraden werden Schicksal an Schicksal an Kampf um die Erfüllung unserer weisen Führer.

Die Bewegung ist zwar kleiner geworden, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Ein erneuertes Europa ist oben dabei, die Völkermord - gegen alle weisen Führer ( ) - zu beenden. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überflutung und Rassenmischung.

Ob "Nazi" oder "Hitler", ob in Wahlkampf oder im Braunkohle, ob mit Propagandaarbeit, bewaffnet oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!  
Gottwald Luck



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005      19.04.2022 (133)  
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー  
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningthescient.com/truth.htm](http://www.mourningthescient.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在のページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を掘しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**  
Number 176 (133)      Founded 1973      April 26, 2022 (133)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware contemporaries and racial kinfolks fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture denigration, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!  
Gottwald Luck



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to find out how YOU can help!